

## チャレンジ！！オープンガバナンス 2017 市民／学生応募用紙

地域課題タイトル (注1)	No. - (事務局用)	タイトル 室蘭に新たな観光客を呼び込むためのアイデア	自治体名 北海道 室蘭市
アイデア名 (注1) (公開)	ムロピよん列車		

(注1) 地域課題タイトルは、COG2017 サイトの中に記載してある応募自治体の地域課題名を記入してください。

(注2) アイデア名は各チームで独自にアイデアにふさわしい名前を付けてください。

### 1. 応募者情報

チーム名 (公開)	ムロピよんズ		
チーム属性 (公開)	<input type="checkbox"/> 1. 市民によるチーム	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 学生によるチーム	<input type="checkbox"/> 3. 市民、学生の混成によるチーム
メンバー数 (公開)	3名		
代表者情報	氏名 (公開)	山内 雅賀	

**(注意書き) ※ 必ず応募前にご一読ください。**

<応募の際のファイル名と送付先>

1. 応募の際は、ファイル名を COG2017\_応募用紙\_具体的チーム名\_該当自治体名にして、以下まで送付してください。東京大学公共政策大学院の COG2017 サイトにある応募受付欄からもアクセスできます。 admin\_padit\_cog2017@pp.u-tokyo.ac.jp

<応募内容の公開>

2. アイデア名、チーム名、チーム属性、チームメンバー数、代表者氏名、「アイデアの説明」は公開されます。
3. 公開条件について：  
「アイデアの説明」でご記入いただく内容は、クリエイティブ・コモンズの CC BY (表示) 4.0 国際ライセンスで、公開します。ただし、申請者からの要請がある場合には、CC BY-NC (表示—非営利) 4.0 国際ライセンスで公開しますので、申請の際にその旨をお知らせください。いずれの場合もクレジットの付与対象は応募したチームの名称とします。  
(具体的なライセンスの条件につきましては、<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/legalcode.ja>、および、<https://creativecommons.org/licenses/by-nc/4.0/legalcode.ja> をご参照ください。また、クリエイティブ・コモンズの解説もあります。<https://creativecommons.jp/licenses/>)
4. 上記の公開は、内容を確認した上で行います。(例えば公序良俗に違反するもの、剽窃があるものなどは公表いたしません)
5. この応募内容のうち、「審査項目自己評価」は、非公開です。なお、内容に優れ今後の参考になりうると判断したものは、公開審査後アドバイスの段階で相談の上公開することがあります。

<知的所有権等の取扱い>

6. 「アイデアの説明」中に、応募したチームで作成・撮影したものではない文章、写真、図画等を使用する場合、その知的所有権を侵害していないことを確認してください。具体的には、法令に従った引用をするか、や知的所有権者の許諾を取得し、その旨を注として記載してください。「審査項目自己評価」中も同様をお願いします。
7. 「アイデアの説明」中に、人が写りこんでいる写真を使用している場合、使用している写真に写りこんでいる人の肖像権またはプライバシーを侵害していないことを確認してください。

<チームメンバー名簿>

チームメンバーに関する情報を最終ページに記載して提出してください。(2. の扱いによる代表者氏名を除き、他のメンバーに関する情報は本人の同意があるものを除き COG 事務局からは非公開です。詳細は最終ページをご覧ください。)

## 2. アイデアの説明（公開）

（1）アイデアの内容、（2）アイデアの論拠、（3）実現までの流れ、の三項目に分けて記入してください。

### （1）アイデアの内容（公開）

アイデアは、だれが、何を、どこで、いつ、どのように、する公共サービス（活動）なのか、これらの要素を入れて**内容そのもの**をわかりやすく示してください。**1 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

## ムロびよん列車

このアイデアをまとめると、室蘭を印象深く知ってもらうための列車内エンターテインメントである。

ムロびよんが Local Wiki を基にした PR を列車での移動中に行い、写真撮影等のふれあいができるシステムである。

### 1. 背景

#### 背景

- 室蘭のニッチな情報が1,100件以上掲載されているLocalWikiを活用したい
  - お隣、登別市は470件程度
  - 札幌市が700件程度
  - 東京都千代田区でさえ140件程度
  - 人口差としては室蘭市:8万5千人  
札幌市:196万人
- この情報を生かして室蘭を深く知ってもらいたい

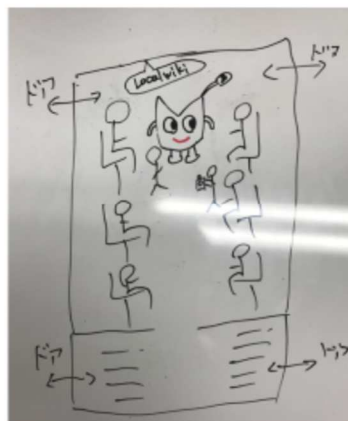


実際のLocal Wikiの記事写真

### 2. 概要

#### 概要

- 外国人観光客や子供連れの観光客が主な対象
- ムロびよんが列車に乗車し、室蘭をPR
- PR内容はLocalWikiの記事
- ムロびよんとのふれあいや写真撮影



アイデアスケッチ

## (2) アイデアの論拠（公開）

アイデアの論拠（なぜこのアイデアなのかの理由付け）について、それをサポートするデータ（統計類の数値データやアンケート・インタビューなどの定性データ）や証拠（資料や計画、既存の施策など）（以下：総称して「データ類」といいます）などを含めつつ、2 ページ以内でご記入ください。データ類は出所を明らかにしてください。

### アイデアの論拠

アイデアの論拠としてシステムの制約条件と機能展開図を以下に記す。

#### 1. システムの制約条件

##### 制約条件

###### 外側

- 新幹線を長万部で降りて、登別、洞爺湖に向かう人

###### 内側

- 車両の改造は難しい
- ディーゼル車のキハ40などを利用可能
- 列車のダイヤに余裕がある
- 新幹線は途中下車できない



キハ40

#### 2. 機能展開図

##### 機能展開

新幹線を長万部で降りて、登別、洞爺湖に向かう人



室蘭に行きたいと思っている人



ムロびよん列車



室蘭を楽しむ方法を知っている人



SNSで情報拡散したい人

### 3. データ類

以下にサポートするデータ類を記す。

#### データ類

- LocalWikiには室蘭の情報が1,100件以上掲載されている(国内最多)
  - 登別市は470件程度
  - 札幌市は700件程度
  - 東京都千代田区は140件程度

Local Wikiより

- 人口比率で見ると圧倒的
  - 室蘭市：8万5千人
  - 登別市：4万8千人
  - 札幌市：196万3千人
  - 千代田区：6万1千人

各市のHPより

### (3) アイデア実現までの流れ（公開）

アイデアを**実現する主体**、アイデアの**実現に必要な資源（ヒト、モノ、カネ）**の大きな規模とその現実的な調達方法（制約がある場合にはその解決策を含む）、アイデアの**実現にいたるプロセスとマイルストーン**等、アイデア実現までの大きな流れについて、**2 ページ以内**でご記入ください。（必要に応じて図表を入れても構いません）

## アイデア実現までの流れ

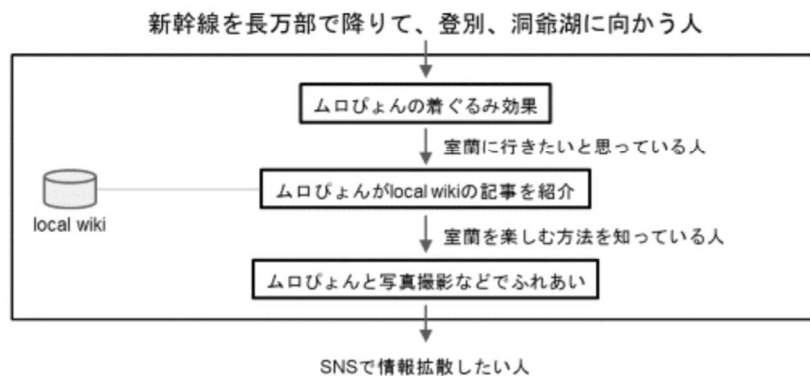
### 1. アイデアの主体・必要な資源

#### アイデアの主体・必要な資源

- JR北海道などの鉄道会社が主体
- 運営に必要な資源
  - ムロびよんを動かす人、ムロびよん補佐、PR内容を作る人
  - 列車(キハ40)、ムロびよん、PR用のモニター、PR内容作成システム
- 必要な予算
  - 列車1両辺り：内装の改造20万円～ + 外装の改造0円or1000万円 + 列車の運営費
  - ムロびよん：改良費0円～ + 動かす人・補佐の人件費
  - PR内容作成システム：開発費 + 運用費
- ムロびよんは同時に1体まで運用し、それに合わせて車両を編成

### 2. コンポーネントデザイン図

#### コンポーネントデザイン



### 3. 計画線表

	1th Month	2th Month	3th Month	4th Month	5th Month	6th Month
列車の調達						
内装の改造						
ダイヤの調整						
ムロピョンの手配						
翻訳機能の開発						

	7th Month	8th Month	9th Month	10th Month	11th Month	12th Month
列車の調達						
内装の改造						
ダイヤの調整						
ムロピョンの手配						
翻訳機能の開発						